

年 組 名前：



創刊したコミュニティ紙「JAんぶす」
二南アルプス市小笠原



市産果物や直売所PR

JA南アルプス市(同市小笠原、中沢豊一組合長)は、JAの活動や市産果物をPRするコミュニティ紙「JAんぶす(じゃんぶす)」を創刊した。創刊号では、市内で誕生した桃やスモモの品種などを特集している。

同JAではこれまで、組合員向けに広報紙を発行。2021年にはインスタグラムのアカウントを開設し、県内外に市産果物をアピールしている。

市民にも旬の果物やJAの取り組みを知ってもらおうと、新聞折り込みで市内全域に届けるコミュニティ

1紙を創刊。B3サイズ見開き4ページで、農繁期の6、10月に計3回発行し、その時期に収穫される果物や、同JAが主催するイベントなどを周知する。

創刊号は6月に発行し、市内で生まれた桃「アルプス美人」やスモモ「貴陽」「皇寿」などを紹介。同市在家塚の道の駅しらね農産物直売所もPRしている。同JA担当者は「農業になじみのない人にも地域の果物について知ってもらい、県内外に魅力を発信してほしい」と話している。

〈戸松優〉

JA南アルプス市がコミュニティ紙

(2026年7月29日付 山梨日日新聞17面)

問1 ジェイエーみなみ し そうかん JA 南アルプス市が創刊したコミュニティ紙の名称を教えてください。

.....

問2 いままでのこうほう し そうかん 広報紙と、創刊したコミュニティ紙との、はい ぶん かん ちが 配布に関する違いを教えてください。

.....

問3 そうかんごう しょうかい くだもの ビーアール ばしよ 創刊号で紹介している果物と、PRしている場所を教えてください。

・くだもの:

・ばしよ:

問4 ジェイエー たんどうしや し はっこう JAの担当者は、コミュニティ紙を発行することで、なにをきたい 期待していますか。

.....